

◎地域生活支援学科の3つの方針

《学位授与方針》(ディプロマポリシー)

厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、以下の能力を備えた学生に卒業を認定し、短期大学士（地域生活支援学）の学位を授与する。

- ① 知識と技術を相互に連携して、複合的に活用できる能力を身につけている。
- ② グローカルな視点から地域生活者への支援ができ、国際人としての感性と素養を身につけている。

●食生活支援コース

- ③ 食と栄養についての専門的知識と技術を修得している。さらに、地域と連携して食生活改善を支援・推進する応用力と実践能力を身につけている。

●福祉生活支援コース

- ③ 介護に関連する専門的知識と技術と共に、利用者本位、自立支援、人権擁護の視点を持ち、職業倫理を身につけ、多職種協働によるチームアプローチの必要性を理解している。さらに、地域と連携して要介護者への生活改善を支援・推進する応用力と実践能力を身につけている。

●多文化生活支援コース

- ③ 生活全般を支援するための食と福祉と多文化にまたがる汎用的専門知識と技術を修得している。さらに、グローバルな視点を持って国際社会でも活躍できる応用力と実践能力を身につけている。

《教育課程の方針》(カリキュラムポリシー)

「食」・「福祉」・「多文化」の3つの生活分野と「いのち」・「暮らし」・「人生」の3つの生活支援レベルを組み合わせた知識と技術を体系的に修得できるカリキュラムを編成する。

- ① 共通教育科目では、建学の精神「あすなろう」を中核とし、より豊かな人間性の育成を図る。
- ② 専門教育科目では、各コースに特徴的な専門的知識と技術を中核とし、コース間の横断的履修を可能とするカリキュラムも組む。

●食生活支援コース

- ③ 食と栄養に係る分野で、「社会生活と健康」・「人体の構造と機能」・「食品と衛生」・「栄養と健康」・「栄養の指導」・「給食の運営」の6領域における科目を重視し、国家免許「栄養士」の資格取得のための専門科目を設ける。

●福祉生活支援コース

- ③ 福祉に係る分野で「人間と社会」・「介護」・「こころとからだのしくみ」・「医療的ケア」の4領域の連携を重視して「介護」の科目をバックアップし、国家資格「介護福祉士」の受験資格取得のための専門科目を設ける。

●多文化生活支援コース

- ③ 多文化複合領域に係る分野で、「外国語」・「観光と旅行」・「ホテルビジネス」・「ホスピタリティ」・「コミュニケーションとプレゼンテーション」の科目を重視し、食と福祉の分野とも連携しながらマルチに学び、国際的にもマルチに活動できる生活支援コンシェルジュのための専門科目を設ける。

入学選抜方針(アドミッションポリシー)

専門的かつ複合的な知識と技術を活用して、多様な生活意識を持った人々への生活支援および地域の活性化にも貢献できる「マルチに学び、マルチに活動する」人材を養成するために、高等学校教育相当の学力、特に学修の土台となる日本語の読解力と記述力を求めます。また人々との交流をとおして、多様な意見を汲み取りながら主体性を持って協調的に行動する力を有していることを期待します。さらに各コースに挙げる意欲、能力、適性を持った学生を受け入れることを基本方針とします。

●食生活支援コース

- ① 食の大切さや食育の重要性をとおして、人々の健康づくりで生活支援をしたい人。
- ② 食への知識や技術を磨くことに意欲を持ち、努力を惜しまない人。
- ③ 食べることが好きで、おいしいものを作ることに熱意を持っている人。
- ④ 食をとおして人々と地域の活性化に役に立ちたいとの強い意志を持ち、多彩な食の現場で活躍しながら生活者への支援をしたい人。

●福祉生活支援コース

- ① 介護の知識や技術、福祉制度を学修して、人々の快適な生活を支援したいという目的意識のある人。
- ② 世の中のできごとに常に関心を持ち、社会を良くしたいという目的意識のある人。

- ③ 人が好きで、介護や福祉の仕事に熱意を持って生活支援をしたい人。
- ④ 自分を成長させ、人と地域の活性化に役に立ちたいという意欲のある人。

●多文化生活支援コース

- ① 人々の生活と意識の多様性を柔軟に受け止めながら、生活者に寄り添った人間味のある支援をしたい人。
- ② 多様な国内外文化とことばに興味を持ち、外国語とコミュニケーション力を駆使して広く人々への生活支援業務に従事したい人。
- ③ 観光や旅行ビジネスに興味を持ち、地域の文化や特性を活かして人々の幸せと生活向上への支援をしたい人。
- ④ 外国の若者と一緒に語らい学修することに興味を持ち、海外留学を目指して国際人として羽ばたきたいとの熱望を持っている人。